

第46回 5・15 沖縄平和行進に参加して

全港湾日本海地方伏木支部海陸分会
伊藤幸之助

5月11日から15日の日程で第46回 5・15 沖縄平和行進に参加しました。自分自身、今回が平和行進に参加するのも初めてでしたが、沖縄へ行くことも初めてでした。

2日目、4日目にはそれぞれ「ひめゆり資料館」「旧海軍壕」、「宣野湾轟数高台公園」「辺野古周辺」「嘉手納基地周辺」を視察しました。4人に1人が亡くなったと言われる沖縄戦の悲惨な過去、そして現在では、街中に滑走路があり昼夜を問わず離着陸を繰り返す騒音問題や、基地があることで新たな戦争勃発への不安。実際に現地で過去や現在を視察して、考えさせられることが多々ありました。

3日目には全港湾で先頭を切り、平和行進をしました。全国から集まった全港湾の仲間と共に、糸満市役所から平和記念公園までの約11kmをシュプレヒコールをしながら、大きな声を出して元気に行進しました。途中、車の中から手を振ってくれる方や「ありがとう」と言ってくれる方もおり、とても嬉しい気持ちにもなりました。

今回、平和行進に参加して感じたことは「他人事(ひとごと)ではない」ということです。正直、過去も現在も無知で他人事、という感覚でした。しかし、離れていても同じ日本、同じ日本人。その感覚が恥ずかしいと思うようになりました。自分が感じたことを職場の人や家族にしっかり伝えていきます。そして、もう一つは全国の全港湾の幅広い年齢の仲間と交流し、仕事や様々なお話ができたことが、これからのにとって非常に良い経験になりました。改めて本当に参加させてもらって良かったです。これから先、また参加できることがあれば幸いです。

沖縄地方本部をはじめ、全国の全港湾の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。